MCj02804280000[1]

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・分数÷整数の計算方法を理解し，計算できる。

○既習とつなぐ見方・考え方

・わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらないことや，分数×分数のかけ算を図で表して説明する学習をしている。

教材研究ノート№6-A-4

≪学習問題≫

かべにペンキをぬっています。　　m の

かべにぬるのに，ペンキを　　dl使いました。

1dLでは，何m ぬれますか。

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

2

3

5

1

3

2

②見通し:わる数が整数ではないのでわれない。→わられる数とわる数の両方に同じ数をかけても，商は変わらなかった。

②学習課題:わられる数とわる数に同じ数をかけたり，1dLでぬれる面積を図に表したりして，　 ÷　　の計算の仕方を説明しよう。

3

5

1

3

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

③個人追究：式や図を使って追究し，説明を考える。

→1dLでぬれる面積を求めるんだ。1ｄLは1／3ｄLの３倍だか

　ら×３をすればできる。3／5÷1／3＝3／5×3

④共同追究前半（解法の比較検討）

「どの求め方にも共通することは何だろう？」

→「わる数を整数にするために，分子に3を

かけている。」

→「分母も図の分け方も　　が単位になっている。」

　　 1m

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

　　　　　　　　 1

2

(　　**÷　　)**

**3**

**5**

**1**

**3**

1

3

2

3

1

5

④共同追究後半（思考を深める）

「分子にわる数の分母をかけて，わったことになるのかな？」

→「(　　×3)÷(　　×3)を　　　÷1と考えれば，

の式になおすことができるからよい。」

　「図の長方形の部分１個分が　　で，その(3×3)個分だから　　　と計算してよい。」

3

5

3×3

5

1

3

3×3

5

1

5

3×3

5

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・わる数が整数になるように，わられる数とわる数に同じ数をかければ，分数と分数のわり算ができる。

・　　でわるわり算は，○をかけるかけ算にして，計算してもよい。

1

○

⑥定着･活用問題

右の図に合う式をつくり，

計算しなさい。

　　 1m

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

　　　　　　 1

2

1

2

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・分数÷整数の考え方や面積図の用い方を想起させるために，ペンキの量を2リットルとしたときの式や面積図での説明を確認した上で学習問題を導入することも考えられる。

・図で追究し，　の部分のみに着目して長方形の部分１個分を

と考えた児童には，1と考えた全体の量に着目させ，全体からみると　　であることに気づかせたい。

3

5

1

5

1

3

【板書計画】